

一般質問

(4〜7ページ上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は22人31件の一般質問がありました。(他はその他の質問)

第6次府中市総合計画に 分倍河原駅周辺整備の 考え方や構想はあるか

同計画前期基本計画では 駅周辺の基盤整備を含めた 検討実施の方向性を示している

白井克寿議員(市政) 分倍河原駅はJR南武線と京王線の2路線が乗り入れ、大変利用客が多いが、改札が1か所のみで駅前広場もない。駅周



▲分倍河原駅前

辺が、安全・安心で防災面にも優れ、公益性・公共性のある魅力的なまちとなるよう中長期的な視野を明確に持つていくことが必要と考える。そこで、同駅周辺の将来的なまちづくりに対する市の考えを聞きたい。
市長 同駅は本市における重要な交通の要衝であるため、鉄道事業者とも協働しながら安全・安心なまち、人を魅了するにぎわいと活力のあるまちの実現に向け取り組んでいきたいと考えている。
議員 平成26年度から第6次府中市総合計画がスタートするが、同計画の中に駅周辺整備の考え方や構想はあるか。

東京オリンピック等の開催で キャンピング地の誘致を目指す考えは あるか

貴重な機会になると考えるため 実施の可否を検討していきたい

加藤雅大議員(市政) スポーツ祭東京2013の開催による本市への経済効果を市ではどのように分析しているか。文化スポーツ部長 競技会場の改修工事等では、市内業者との契約で約7億3000万円、大会開催時には主に宿泊・飲食施設などで約4500万円が使われている。そのほか、

競技会場では府中産食材の使用等に努めるなど波及効果も含めかなりの経済効果があったものと考えている。
議員 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定以降、町田市などがキャンピング地の誘致に名乗りを上げていると聞く。本市においても誘致を目指す考えは、

市が所有する 長野県富士見高原地域の 土地活用の見通しは

周辺環境や土地利用の 状況を注視しつつ 活用方法を検討していきたい

市川一徳議員(市政) 本市では長野県富士見高原地域に土地を所有しているが、その概要を聞きたい。
行政管理部長 同地域で都

第6次府中市総合計画前期基本計画で ごみ減量の推進についての考え方は

市民、事業者との協働により ごみの発生抑制等に努めていく

村木茂議員(市政) 平成22年のごみ改革により、市民1人当たりのごみ量が削減されたが、当時と比べてごみ減量に対する市民の姿勢が弱くなったと思う。
そこで、第6次府中市総合計画前期基本計画におけるごみ減量の推進についての考え

政策総務部長 誘致を推進するに当たっては、市民の機運醸成に加え財源確保及び推進体制の構築などが課題と考えるが、市民の更なるスポーツ振興において世界レベルの選手と触れ合えることは貴重な機会になると考えるため、多角的な視点から実施の可否を検討していきたい。

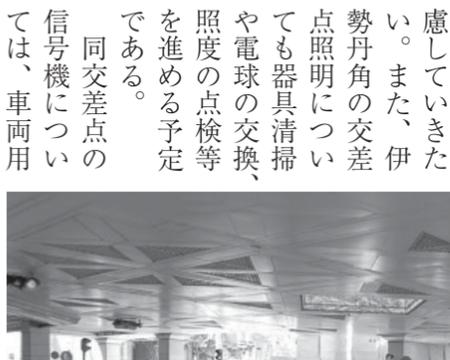
方と取組を聞きたい。
市長 10年間でごみ50%の削減を掲げ、最終年度の25年度には積極的なPR活動等を行ってきたが、目標には及ばない状況にあり、資源も含めた総ごみ量の削減を進めなければならぬと考えている。
そこで、同計画では「循環型社会の形成」を掲げ、市民、事業者、行政の協働により、ごみの発生抑制、再利用、再資源化等に努めることとし、1人1日当たりのごみ及び資源排出量を26年度からの4年間で23年度比50グラムを削減するとしている。
今後は一層の意識啓発を図り、更なる施策を展開していきたいと考えている。

再開発事業工事期間中等の 周辺道路の照度不足は 改善が必要ではないか

にぎわいの創出や 照明器具デザイン等に 配慮していきたい

石川明男議員(市政) 府中駅前の再開発事業工事期間中における周辺道路の照度不足や伊勢丹角のペDESTリアン

デッキ下交差点照明の破損と汚れによる照度不足は、早急な改善が必要と思うがどうか。また、同交差点の歩行者用信号を全て同時に青色表示にする設定ができないか。
下水道・地区整備担当参事 再開発工事周辺の道路は、商業施設が集積しているため、まちのにぎわいの創出や照明器具のデザインなどにも配慮していきたい。また、伊勢丹角の交差点照明についても器具清掃や電球の交換、照度の点検等を進める予定である。
同交差点の信号機については、車両用



▲府中駅南側ペDESTリアンデッキ下交差点

と歩行者用の青色表示を分け表示するよう警視庁に引き続き要望していく。
議員 同駅周辺に道路名標示板の増設や地点名標示板の設置ができないか。
下水道・地区整備担当参事 道路名標示板や地点名標示板については、再開発事業にあわせ整備を進めていく。

国立市長と連携し 新田川の通年通水に向けて 努力を続けてはどうか

国立市長と連携し 通年通水への継続性を 申し入れたいと考えている

小野寺淳議員(市政) 新田川緑道にある分倍河原古戦場碑付近の親水路では、試行的



▲しょうぶ池

に通年通水を始めたことと聞くが、課題はあるか。また、しょうぶ池では臭いが発生することもあるが、施設管理についての考えは。
都市整備部長 通年通水には、水源である国立市内の用水から新田川水系に変更していくこ

と、藻類等の除去に対応していきたいと考えている。
議員 新田川を生き返らせていくため、市長には国立市長と連携の約束をし、通年通水に向けて努力していただきたいと思うがどうか。
市長 水路周辺の自然環境の保全や水辺に親しむ空間の創出にも効果が期待できると認識しているため、国立市長に対し、自ら通年通水の継続性を申し入れたいと考えている。